第2次臼杵市
総合計画
～後期基本計画～
（2020～2024）

ごあいさつ

2015(平成 27)年 4 月の新臼杵市施行 10 周年と時を同じくして策定した、本市の最上位計画である「第 2 次臼杵市総合計画」は 10 年間の基本構想において、まちの将来像を『日本の心が息づくまち臼杵～「おだやかさ」と「たくましさ」を未来につなぐ』と定め、これまでに臼杵市の魅力や資源を活かしながら、地域の活力を維持、発展させていくための様々な取組を推進してまいりました。

2015(平成 27)年度から 2019(令和元)年度までの「前期基本計画」の 5 年間において特に注力したのが『人口減少対策』であり、子育て支援施策や産業振興施策、移住定住施策などの取組が実を結び、移住者が大幅に増加し人口の社会減の抑制につながっています。

しかしながら、閉塞感の続く縮小時代において、人口の自然減に歯止めをかけることは難しく、社会情勢や経済状況の目まぐるしい変化は本市にも大きな影響を与えています。市町村合併から 15 年が経過し、合併に伴う財政上の特例も終期を迎え、今後、さらに市政を進める上での財源確保が難しくなることが予想されます。

そのような中にあっても、多様化する市民ニーズにきめ細かに対応し、市民サービスの向上に努める必要があり、新たな課題に対する臨機応変な対応も求められます。行財政健全化を念頭に置きつつ、今後も新しいことに積極的にチャレンジしながらまちづくりを進めていく必要があるものと考えています。

第 2 次臼杵市総合計画の「後期基本計画」は、中長期的な視野で財政経営を計画的に行い、限られた予算の中において質の高い市民サービスの提供をめざすため、前期 5 年間の基本計画達成状況の分析・見直しを行い、新たに 2020(令和 2)年度から 2024(令和 6)年度までの後期 5 年間の基本方針を示す計画として策定しました。

これまで同様、人口減少対策に果敢に取り組みながら、活力ある地域社会と愛着と誇りを持つことができる持続可能な臼杵市を築いていくため、市民皆様との協働のもと、“チーム臼杵”として一丸となって、新たな後期基本計画の着実な遂行に努めていきたいと考えています。

結びに、計画策定にあたり策定・審議を賜りました各委員会の皆様並びに市議会をはじめ、ご協力いただきました関係各位に対しまして、心から御礼申し上げます。

2020(令和 2)年 3 月

臼杵市長　中野五郎

目次

第 1 部 序論 1
1 計画の概要 3
(1) 計画策定の趣旨 3
(2) 計画の構成と期間 3
(3) 計画の特徴 4
2 計画の概要背景 5
(1) 臼杵市の歴史と風土 5
(2) 合併後の歩み 6
(3) 人口推移・推計 10
(4) 市民意識の変化 12
(5) 財政状況の変化 15
3 総合計画と各分野個別計画の関係 16
第 2 部 基本構想 19
1 まちの将来像 21
2 7 つのまちづくりの目標(めざすまちの姿) 22
3 計画の推進に向けて 24
第 3 部 基本計画 25
1 基本計画の概要 27
(1) 総合計画の体系図(ピラミッド) 27
(2) 重点プロジェクト 27
(3) 重点プロジェクトと各施策の関係 28
(4) 施策の体系図 29
第 4 部 基本計画の具体的施策 31
Ⅰ.生活の土台を築き、笑顔あふれる市民が暮らすまち(健康福祉) 32
Ⅱ.地域の輪で心がかよい、市民が集うまち(地域の絆) 52
Ⅲ.自助・共助の精神を持った市民が暮らす、災害に強いまち(防災) 58
Ⅳ.魅力ある資源を市民が創り活かし、人が集まりにぎわうまち(産業・観光) 66
Ⅴ.磨き輝き続ける市民がつながり、臼杵っこが育つまち(学び) 84
Ⅵ.社会基盤が整い、行動力ある市民が暮らすまち(社会基盤) 114
Ⅶ.豊かな自然環境で市民が潤い、活力あふれるまち(生活基盤) 136
Ⅷ.臼杵市らしい自立した協働でつくるために(行政経営・議会) 154
第 5 部 資料編 161
1 策定経過 163
2 第 2 期臼杵市まち・ひと・しごと創生総合戦略 164
3 第 2 次臼杵市総合計画後期基本計画と SDGs の関係 165
(1) SDGs とは 165

(2) 日本政府における取組 166
(3) 第 2 次臼杵市総合計画と SDGs の関連 166
4 策定体制 168
(1) 臼杵市行財政活性化推進委員会設置要綱 168
(2) 行財政活性化推進委員会委員名簿 169
(3) 臼杵市総合計画検討委員会規程 170
(4) 検討委員会名簿 171
(5) 臼杵市総合計画策定委員会設置要綱 172
(6) 策定委員会名簿 173
5 臼杵市まちづくり基本条例 175